

## ビットコイン上昇、FOMCを控え17,000ドルレジス タンスを突破

## 原文:

 $\underline{https://www.btcc.com/ja-JP/academy/research-analysis/bitcoin-rises-breaks-17000-upper-resistance-a \\ \underline{head-of-fomc-meeting}$ 

昨日のビットコインは上昇し、堅調な17,000ドルのレジスタンスを上回り、18,000ドルに接近している。 本日のFOMCを控えてビットコインはどうなんだろう。



ビットコイン上昇、バイナンスに巡る悪材料にもかかわらず

週明けには、ウォールストリートジャーナルがバイナンスの準備資産に疑問を呈し、バイナンスがProof of Reserveの開示を始めたこと、ロイターが米国司法当局がバイナンスのマネーロンダリングに対する

刑事告訴を検討していると報じたことなど、バイナンスに関する悪材料が相次ぎ、市場は打撃を受けた。ビットコインは一時17,000ドルまで下落した。

CPIやFOMCのイベントを前にしたポジション調整により、ビットコインは昨日未明に17,000ドルまで上昇し、バハマ当局が米国当局に起訴されたFTXの元CEOであるSBF氏を逮捕したという報道などを受け、堅調に推移した。

その後、バイナンスを取り巻く報道や同社の資金流出が続く中、バイナンスコイン(BNB)が10%前後下落した後、同社は反発し、ビットコインはしばらく続いていたより堅い17,000ドル台をブレイクした。

また、米消費者物価指数のヘッドラインが前年比7.3%増、コア成長率が6.0%増といずれも予想を下回ったことが好感され、ドル売りが進む中、ビットコインは18000ドル近くまで上昇した。



Google Playで手に入れようApp Storeからダウンロード日本ユーザー様限定特典(10.055USDTギフトパック)</<</td>

## FOMCを控えビットコインはどうなる?

しかし、明日のFOMCを控えて上昇していた米国株が後退したため、ビットコインは17,000ドル台前半で取引された。

昨日は、弱い米CPIを受けたドル売り・株買いの流れの中で、ビットコインは月足レンジをブレイクした。

本日は、FOMCが予定されている。昨日のCPIを受けてFF先物市場のFF金利が4.85%でピークを迎えることが予想される中、FRB当局者が以前から表明している5%台への利上げは、リスクの高いシナリオにつながりやすく、慎重に対応する必要がある。

仮想通貨相場などに関してもっと知りたい方は、BTCCのホームページをご参考ください。

BTCC取引所は、イギリスに設立された暗号資産デリバティブ取引所です。「信頼ができる暗号資産取引を誰もが簡単に利用できる」ことをモットーに、12年以上サービスを提供しています。ロンドンに本部を置くBTCCは現在日本での登録者数が徐々に増加しており、またSNSを通じて日本限定のキャンペーンも度々開催されています。

## 【あわせて読みたい】

仮想通貨・ビットコインは今後どうなる?将来性や暴落予想を徹底解説【2022年最新】

STEPN (GMT/GST) とは? 今後の将来性や買い方【仮想通貨】

パレットトークン(PLT)とは?特徴や価格動向、将来性を解説

喧嘩道(ケンカメタバース)とは?ケンカコインの買い方を解説

【仮想通貨】UXD(UXD Protocol)とは?将来性や特徴を徹底解説

元素騎士ONLINEとは?特徴や今後の見通しを徹底解説

スピンドル (SPINDLE/SPD) とは?特徴や今後の見通しを解説

【STEPNアップデート】APEレルムとは? 概要・影響・将来性

仮想通貨取引所おすすめ比較ランキング! 口座開設方法や選び方を解説

<u>「The Merge」とは?イーサリアム(ETH)PoS移行(マージ)を徹底解説</u>

イーサリアムのマージ「Bellatrix」が実施、これからはどうなる?

ドル円今後はどうなる? 円安ドル高はいつまで? 最新予想や見通し